

ENCOM YOKOHAMA

ニュースレター No.2

MAY 2016

カトリック横浜教区難民移住移動者委員会

〒231-0055 神奈川県横浜市中区末吉町 1-13
カトリック末吉町教会内
TEL : 045-315-7040 FAX : 045-315-7080
E-mail: encomyoko@gmail.com

＊いのちの回復への挑戦

レニー・トレンティノー

(ENCOM スタッフ・フィリピン人信徒宣教者)

この社会の現実の中で働かれるイエスは、いのちを回復される。虐待され、搾取され、人身取引の被害に遭っている外国にルーツを持つ人々、女性、若者、子供たちは、私たちに、イエスがなさったように助けてほしいと叫び声をあげている。

日本で人間としての尊厳を侵されている移住者とその子どもたちに寄り添うことで、私たちは教会としてイエスにならうよう求められている。

生活のために、または、信じていた人々から売春を強いられていた女性たちの相談を受けることがあった。DV 夫から逃げてきた女性や問題を抱える家庭を飛び出し JK ビジネス(注 1)に巻き込まれていたダブル(2つの国の文化を生きる)の少女にも出会った。私たちはさまざまな理由から売春に巻き込まれた女性のそれぞれのストーリーを聞いた。ほとんどの女性が家庭を離れた後に被害にあっている。悲劇的なのは、助けを求められる場を知らないまま、家庭の外に安全を求め、せつかく虐待から逃れたのに、さらにひどく搾取される状況に自分を追い込むことになる現状である。こうしてブローカーや売春斡旋業者が不当な利益をあげているのである。

もう一つ新たに警戒すべき問題として、多くの JFC(ジャパニーズ・フィリピン・チルドレン)(注 2)とその母親が、危険と搾取を伴う日本への移住をこころみていることである。特に、彼ら、彼女たちは、2009年の国籍法改正施行後、慈善団体を装うフィリピンのリクルート業者のターゲットになっている。日本に関連会社を持つブローカーは、日本への入国書類を処理し、仕事や住む場所を探し、子どもの就学支援を約束して彼女たちをリクルートする。これらすべてのサービス代金は、彼女たちが日本で働く時、その給与から差し引かれるのである。

次は、あるブローカーを通して2013年に来日した60数人のJFCとその母親たちの実情である。彼ら、彼女たちの行動は厳しく制限、監視され、パスポートは来日後ブローカーに取り上げられていた。その中でも若い母親や、17歳以上のJFCは、工場で働かされるだけでなく、スナック・バーでも働かされ、そこでは客から性的暴力を受ける危険性もあった。給料日は借金の返済として半分以上が取られるため、ほんの少額しか支払われない。与えられた住居は詰め込み状態で、8人が小さな1室に寝起きする。母親たちは早朝から深夜まで働かされることで、子どもたちは放っておかれ、学校にも通えず心身の支障をきたす。彼女たちは、そこから逃げ出せば違約金を支払うという同意書にサインさせられているので、耐えられる限界になるまで助けを求めることができなかつたのである。

愛知・京都・大阪にある教会は、搾取的な扱いと彼女たちをコントロールする仲介業者から逃れることのできたJFCやその母親たちを保護し、シェルターを提供して、安心して過ごすことができるようにした。私たちの経験から、問題を抱えるフィリピンの人々はいつも教会に助けを求める。

カトリック難民移住移動者委員会は、教区・小教区・修道会に自分たちの施設をシェルターとして使用できるようにするなど、虐待を受け、人身取引の被害に遭い、搾取されている人々を同情の心をもって支えるように呼びかけ、促している。

フィリピンには10万人のJFCがいると推定されており、彼ら、彼女たちの多くが日本人の父親から見捨てられ、貧困状態に置かれているため、日本に来て働くことを望んでいる。しかし、移住してきても彼女たちの生活は貧しく、権利は剥奪され、人身取引や性的搾取の被害に遭いやすくなっている。

これらの現実を通して、イエスは、貧しい人、弱い人、虐げられた人のいのちを取り戻すことにかかわるようにと、私たちに呼びかけておられる。

注1：JKビジネス＝女子高生ビジネス。「JKリフレ」「JK撮影会」「JKお散歩」などに女子高生や18歳未満の少女が従事しており、児童買春等の犯罪の温床になっている。

注2：JFC＝日本人とフィリピン人の両親を持つ子供たち。特にフィリピン人女性と日本人男性との間に生まれた子供たちを指すことが多い。現在、フィリピン、日本の両国で10万～20万人のJFCがいると推定される。

✧小・中学生のための学習支援

フィリピンにつながる子供たちの学習支援教室を始めてからちょうど一年半が経ちました。当初中学二年生だった二人の男子生徒が中学を卒業し、無事に高校へ進学しました。毎週、10人ほどの子供たちが集まり、それぞれ宿題や漢字の練習、正しい日本語の使い方を勉強しています。子供たち同士も年齢を越えて仲良くなり、学校や家とは別の居場所になっています。横浜市内には行政、NPOによる学習支援教室がすでに多数ありますが、フィリピン人が



《百人一首をしているところ》

定着するケースは少ないようです。もともと教会にはフィリピン人同士のネットワークがあり、フィリピン人のレイミッションナリー（信徒宣教者）がいるという利点を活かし、教会だからこそできる支援を今後も続けていきたいと思えます。

※ENCOCM 主催講演会の報告

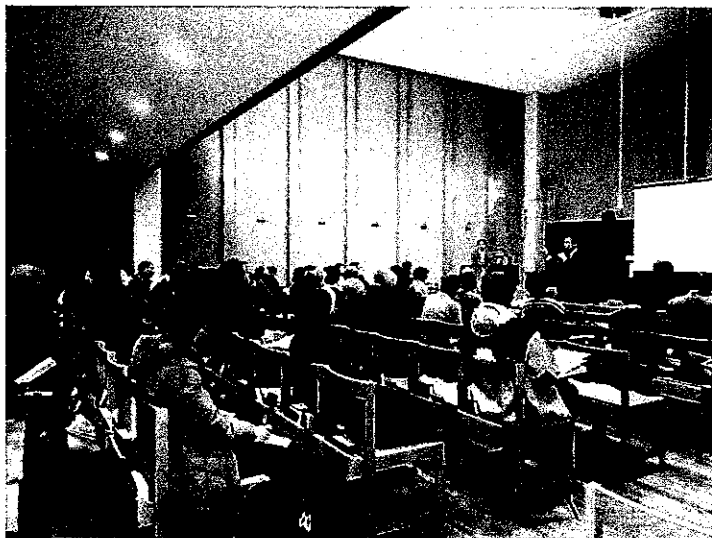
「技能実習生制度～その現状と支援」について、2月20日(土)末吉町教会で、NPO 法人「移住者と連帯する全国ネットワーク」代表理事の鳥井一平氏にお話を伺いました。

当日は神奈川県をはじめ、埼玉県、静岡県などから60数名の方が参加されました。

急速に進む少子高齢化の日本では、深刻な労働力不足により、様々な分野で外国人労働者の存在が不可欠です。その労働力を確保する方法のひとつとして、政府は「外国人技能実習制度」を導入しました。目的は、建設・製造・農業などの技術を身につけて帰国し、開発途上国の発展を担う「人づくり」に協力するとされていますが、実際は、人手不足の零細工場や農家の経営者が、劣悪な労働条件で一定期間安く雇用することを可能にする制度なのです。時給300円、ピンハネ（何とトイレに行くのに1分につき15円差し引き！）、長時間労働、強制帰国、セクハラと言った不正行為が日常化し、まるでモノ扱いという実態には、国連などからも、人権侵害、奴隷労働、人身売買とまで批判と改善勧告を受けながら、官民ともに真摯に対応していないのが現状です。こうした技能実習生への非人間的な扱いは、「ヘイトスピーチ」と同じ土壌から生まれるのです。

工場の経営者はごく普通のおじさんたちで、彼らを「邪悪な欲望に変貌する社長」に変えてしまう、この恐ろしい技能実習制度は廃止し、移動・企業選択・辞める自由、使用者を選ぶ権利、定住を妨げないという、新たな「受け入れ」制度の導入が急務です。

他民族、多文化共生社会はすでに始まっています。彼らは私たちの働く仲間、地域の隣人なのです。まずは、移民の存在なくして成り立たないこの社会という事実を直視する力を養いたいものです。



《熱心に聴き入る参加者》

＊関連 DVD もぜひご覧ください。「孤独なツバメたち」～デカセギの子どもに生まれて～

日本とブラジル—2つの故郷の間で揺れ動く、日系ブラジル人の若者たちの知られざる青春を追ったドキュメンタリー。ひたすら労働力を求め、景気が悪くなれば出身国に帰すというスタンスでしかデカセギを受け入れない日本。その結果、その子どもたちはアイデンティティーを失っていく。

私たちは、そういう彼らの犠牲の上に今を生きているという、衝撃的な事実を目を開かされます。

＊お知らせ

◆世界難民移住移動者の日に合わせて「横浜教区国際フェスタ～主の食卓を囲んで」を開催します

9月25日(日) 11:30～16:00(予定) 場所:末吉町教会

国際ミサ:梅村昌弘司教主司式

フェスタ:エンターテイメント、フードコート、子どもプログラム etc.

◆難民移住移動者委員会全国研修会

「外国につながる子どもたち」をテーマに開催予定

10月10日(月・祝)～12日(水)

場所:浜松教会

＊ご協力をお願い

病気や怪我などで働けなくなり困窮している外国人とその家族や入管に收容されている外国人支援のため次のような物を必要としています。ご寄付をお願い致します。

食料品:お米、パスタ、缶詰、レトルト食品、カップラーメン、インスタントコーヒー、砂糖等
(賞味期限・消費期限に余裕のあるもの)

日用品:石鹸、洗濯用洗剤、歯ブラシ、歯磨き粉、タオル等(何れも新品、未使用のもの)

衣類:男性用Lサイズ以上のTシャツ・ジャンパー・セーター・フリース・靴下等

＊ボランティア募集

(1)外国につながる子どもたちへの学習支援ボランティア(大学生を募集しています)

毎週土曜日午後2:00～4:00

(2)東日本入国管理センター(茨城県牛久市)に收容されている外国人への面会訪問ボランティア

月1回(火曜日)車に乗り合わせて行きます

(1)(2)とも、必ずしも毎回参加できなくてもOKです。

＊ご寄付のお願い

ENCOM YOKOHAMAの活動は一般寄付金とカトリック横浜司教区からの助成金によって支えられています。ご支援をよろしくお願い致します。

郵便振替 00270-7-98145

加入者名 ENCOM YOKOHAM

◆ENCOM紹介のパンフレット(日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語)をご利用ください。事務局までご連絡いただければお送りします。